

## トリニダード・トバゴ月間情勢報告 (2024年12月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

12月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

### 1 概況

- リサ・モリス＝ジュリアン教育省付大臣が、アリマ氏の自宅で火災に巻き込まれ死亡。
- トリニダード島沖合のパリア湾の油田「ヘリテージ・オフショア・イーストフィールド」で作業中の石油掘削リグが倒壊し、1名が行方不明になり、1名が負傷。
- カンガルー大統領は、治安上の懸念を理由に、TT全土に緊急事態宣言を発令。
- Perenco TT 社は、bpTT 社から4つの海洋油田（Cashima, Amherstia, Flamboyant and Immortelle）及び生産設備の買収を完了したと発表。
- カリブ諸国連合（ACS）のサボンへ旧事務局長の退任式及びマドリード新事務局長の着任式が、事務局のあるTTの首都ポート・オブ・スペインで実施された。

### 2 内政

- （15日報道）パサード＝ビセッサ野党党首は、2025年に実施予定の総選挙に備え、他政党との連立の可能性を模索中であると発表。
- （17日報道）リサ・モリス＝ジュリアン教育省付大臣が、アリマ氏の自宅で火災に巻き込まれ死亡。同火災で2人の子供（6歳の息子と25歳の娘）も死亡。
- （23日報道）トリニダード島沖合のパリア湾の油田「ヘリテージ・オフショア・イーストフィールド」で作業中の石油掘削リグ「リグ110」が倒壊し、掘削作業を行っていた75名中1名が行方不明になり、1名が負傷。
- （27日報道）デヤルシン保健大臣は、TTのトリニダード・トバゴの出生率は、2023年の1.2からさらに減少し、2022年には0.9になったと発表。
- （30日、31日報道）カンガルー大統領は、治安上の懸念を理由に、TT全土に緊急事態宣言を発令。同宣言は犯罪の取り締まり強化のために警察及び軍関係者への権限の強化を目的としており、一般市民への外出禁止令などは発出されていない。

### 3 経済

- （6日報道）ラテンアメリカ開発銀行（CAF）は、トバゴ島沖合で発生した油流出事故の被害を受け、TTに対する25万米ドルの支援金を承認。
- （11日報道）米大使館及び米海軍は、災害準備管理局（ODPM）、シパリア地域公社及びトバゴ緊急事態管理局（TEMA）に対し、トラックや発電機、シャベル、テント、チェーンソー等含む10万米ドル相当の災害対応機材を寄贈。
- （12日報道）アトランティックLNG社は、組織再編後初めて第2・3系列で生産された液化天然ガス（LNG）の貨物が、それぞれイタリアとエジプトに向け出荷されたと発表（当館注：2023年、TT政府と各出資者は収益不足を理由に、合計4つある同社の生産系列ライン毎の出資を終了し、4ラインの共同保有者としての出資者となり、天然ガスの供給・引き取りを行う組織再編の契約を締結）。
- （12日報道）米州開発銀行（IDB）はアリマ地区を対象に、ブロードバンドへのアクセス改善やWi-Fi対応ゾーンの拡大、区民のデジタルIQ向上プログラム提供等行うスマートシティ戦略「Connected Arima イニシアチブ」を、カリブ地域で初めて試験的に導入。
- （19日報道）Perenco TT社は、bpTT社から4つの海洋油田（Cashima, Amherstia, Flamboyant, Immortelle）及び生産設備の買収を完了したと発表。
- （23日報道）カリブ諸国・中国間の製品の相互輸出入を行うTTの国際貿易会社First Caribbean Marketing（FCMC）社は、同国のラム酒生産会社アンゴスチュラ社とパートナーシップを締結。これにより、約100万TTドル（約14.7万米ドル）相当のアンゴスチュラ社の製品が中国市場へ出荷されることが決定。

### 4 外交

- （23日外務省発表）カリブ諸国連合（ACS）のサボンへ旧事務局長の退任式及びマドリード新事務局長の着任式が、事務局のあるTTの首都ポート・オブ・スペインで実施された。